

日本液体微粒化学会 研究部会所属
第3研究委員会 「微粒化と噴霧プロセスに関する革新技術調査委員会」
第1回委員会 開催のお知らせ

委員長 小橋 好充(金沢工業大学)

幹事 鶴 大輔 (九州大学)

最近の噴霧燃焼を伴う内燃機関の研究開発においては数値計算が重要な役割を担っていますが、その発展に伴い、現在は多様な数値解析法や数値解析コードが入手可能になりました。しかし、これらは適用分野、拡張性、ユーザフレンドリネスなどそれぞれに特徴があり、その調査が必要となることもよくあります。そこで、本委員会では、様々な数値計算法や数値解析コードを実際に利用されている専門家の皆様をお招きして、それぞれの特徴を解説いただくとともに、得られた成果をご紹介します。

また、本委員会では、第1研究委員会「次世代微粒化技術と微粒化計測法を考える研究会」との合同委員会として、同委員会から話題を提供します。

日本液体微粒化学会会員の皆様は無料でご参加いただけます。下記の要領で開催いたしますので、奮ってご参加くださいますよう、お願いいたします。

記

日時: 2015年7月14日(火) 13:20-16:45

場所: 金沢工業大学 虎ノ門キャンパス

東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 13階 1301室

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/map.htm>

プログラム:

13:20-13:30 開会挨拶

小橋 好充 (金沢工業大学)

話題提供

13:30-14:00 先進的エンジン燃焼のCFDシミュレーションによる解析

辻村 拓 氏 (産業技術総合研究所)

14:00-14:30 数値シミュレーションによるディーゼルノズル内流れ・噴霧解析 (仮題)

鈴木 雅幸 氏 (デンソー)

14:40-15:10 OpenFOAMによる大規模並列計算を用いたディーゼル噴霧解析の高速化

堀 司 氏 (大阪大学)

15:10-15:40 衝突微粒化のDNS・Lagrange粒子連成解析手法の開発と利用 (仮題)

井上 智博 氏 (東京大学)

15:40-16:00 総合討論, ほか

16:00-16:45 第1研究委員会 話題提供

以上

返信表（メールまたはファックスでお知らせください） 締切：2015年7月7日（火）
送付先 鶴 大輔（九州大学） E-mail: dtsuru@ence.kyushu-u.ac.jp Fax: 092-583-7593

日本液体微粒化学会 第3研究委員会 出席返信表

ご氏名

ご所属

e-mail アドレス

電話番号

Fax 番号